



KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

株式会社串カツ田中ホールディングス
2023年11月期 第1四半期 決算説明資料

2023.4.14

証券コード：3547

決算資料 目次

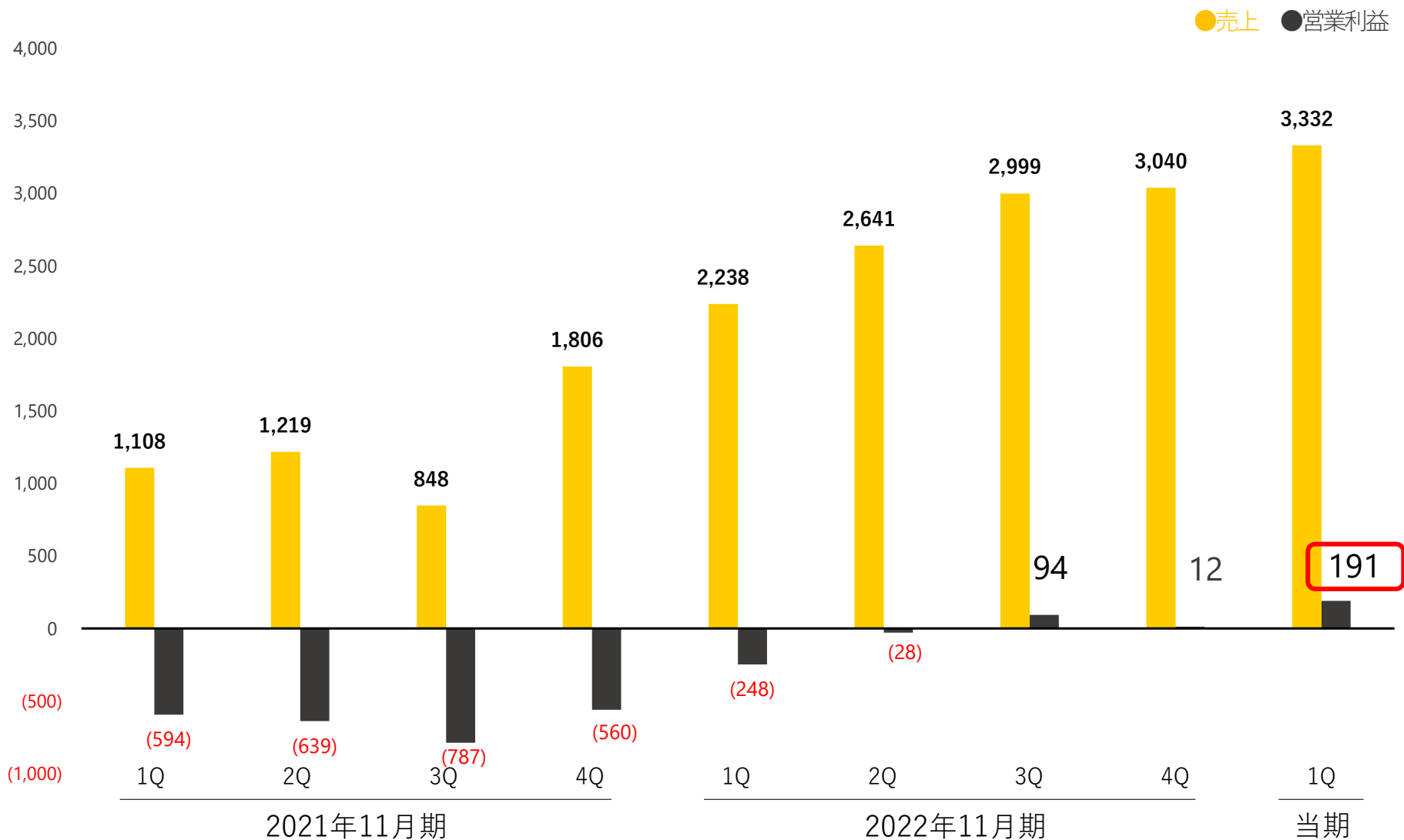
1. 2023年11月期 トピックス
2. 2023年11月期 第1四半期業績
3. 参考資料



1. 2023年11月期 トピックス

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

コロナ禍を越え営業利益は正常化



新規事業 飲食店向けアプリの直営店全店導入完了



RestartZ

合併会社 (リスタート)

インフォマート社と当社の合併会社 Restartz で店舗の生産性向上や人手不足解消、省人化を目的とした店舗運営支援アプリ「V-Manage」の実証実験を終え、3月までに**直営店全店導入完了**しました。FC店については、6月から順次全店導入を開始します。

公式HP : <https://v-manage.infomart.co.jp/>



V-Manageによる課題解決

本部 (管理・企画)	エリアマネージャー・SV	店舗スタッフ
<p>店舗運営の簡素化 (ルーチン・チェック・指示)</p>	<p>担当店舗の日常業務 (日報・実施状況確認)</p>	<p>業務を明確に漏れなく (仕込・清掃・レジ録)</p>
<p>運営状況の正確な把握 (ブランド・エリア・FC)</p>	<p>改善点把握 (HACCP対応など)</p>	<p>チェックシート (ロス管理・HCCAP)</p>
<p>働き方の変化に対応 (外国人就労・臨時ワーカー)</p>	<p>業務指示・指導 (臨時業務や改善チェック)</p>	<p>臨時業務の対応 (コロナ貼紙・メニュー変更)</p>
<p>教育の簡素化 (マニュアル共有・作業手順への画像添付)</p>		
<p>円滑なコミュニケーション (チャット・掲示板)</p>		



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

2. 2023年11月期 第1四半期業績

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

2023年業績ハイライト

●売上高 **3,332**百万円

前年同期比

148%

●営業利益

191百万円

営業利益率：5.7%

●経常利益

193百万円

経常利益率：5.8%

●当期純利益

96百万円

当期純利益率：2.9%

■売上高

規制が緩和されたことに対応した販促活動が奏功し、売上高は順調に進捗

■営業利益

原材料や光熱費の高騰等したものの、黒字を達成



2023年売上内訳

■ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休業・時短営業の縮小による影響及び販促活動による集客が奏功

●直営店売上

2022年11月期第1四半期

1,691百万円



2023年11月期第1四半期

2,504百万円

増減額：812百万円

前年比：148.0%

●FC商品売上

2022年11月期第1四半期

373百万円



2023年11月期第1四半期

607百万円

増減額：234百万円

前年比：162.7%

●ロイヤリティ

2022年11月期第1四半期

78百万円



2023年11月期第1四半期

120百万円


増減額：42百万円

前年比：154.5%



2023年業績サマリー

■ 営業利益は191百万円となり、3四半期連続の黒字を達成

	2022年11月期 第1四半期	2023年11月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	2,238	3,332	1,093	148.9%
売上総利益	1,426	2,088	661	146.4%
一般管理費	1,674	1,897	222	113.3%
営業利益	△248	191	439	—%
経常利益	650	193	△457	29.7%
当期純利益	411	96	△314	23.4%



2023年11月期業績予算比較

実績

2023年11月期
第1四半期

予算

2023年11月期
第2四半期累計

【ご参考】

予算

2023年11月期通期

●売上高

3,332

6,800

進捗率
49.0%

14,400

●営業利益

191

300

進捗率
63.7%

780

●経常利益

193

330

進捗率
58.6%

850

●当期純利益

96

150

進捗率
64.2%

420

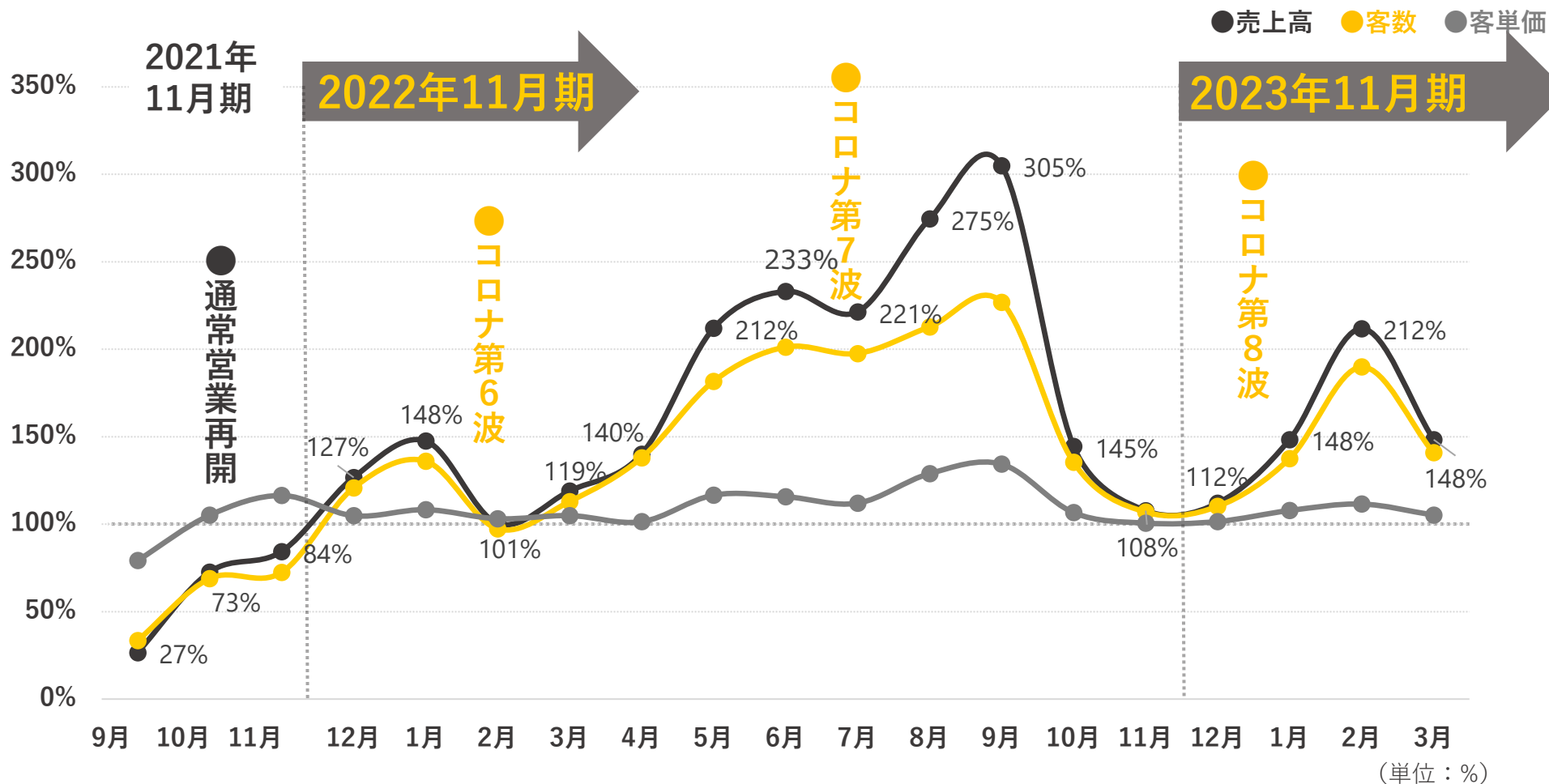
(単位：百万円)





串カツ田中 既存店売上高推移：前年比較

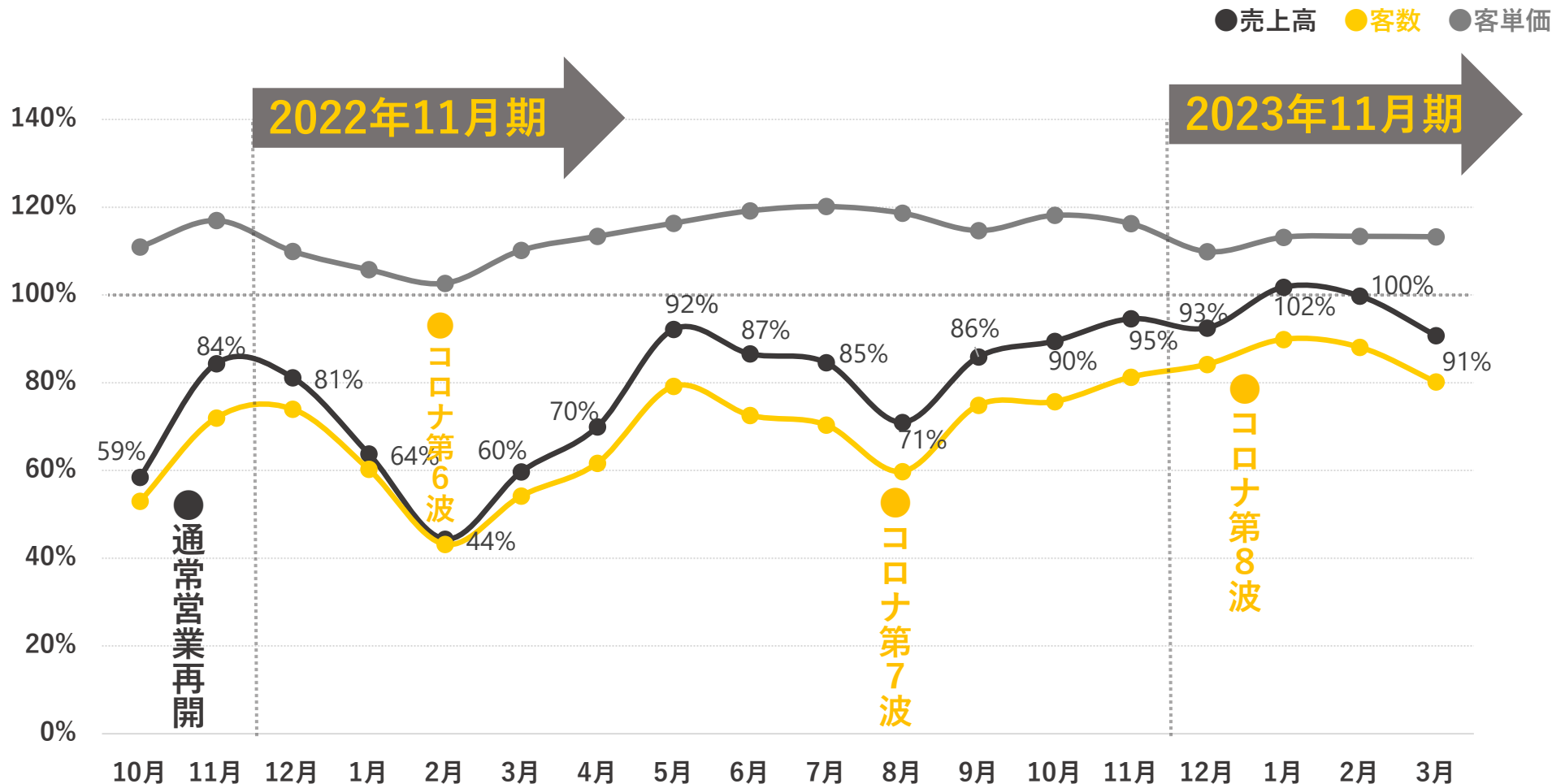
■ コロナウイルスの第8波により感染者数が増加したが、売上高は好調に推移。夜間需要の戻りに課題が残る





串カツ田中 既存店売上高推移：コロナ前2019年比較

■ 感染拡大の影響は緩やかになり、売上・客数ともに回復傾向にある



全店舗合計推移

2023年2月末時点

ブランド別店舗数



307



1



3



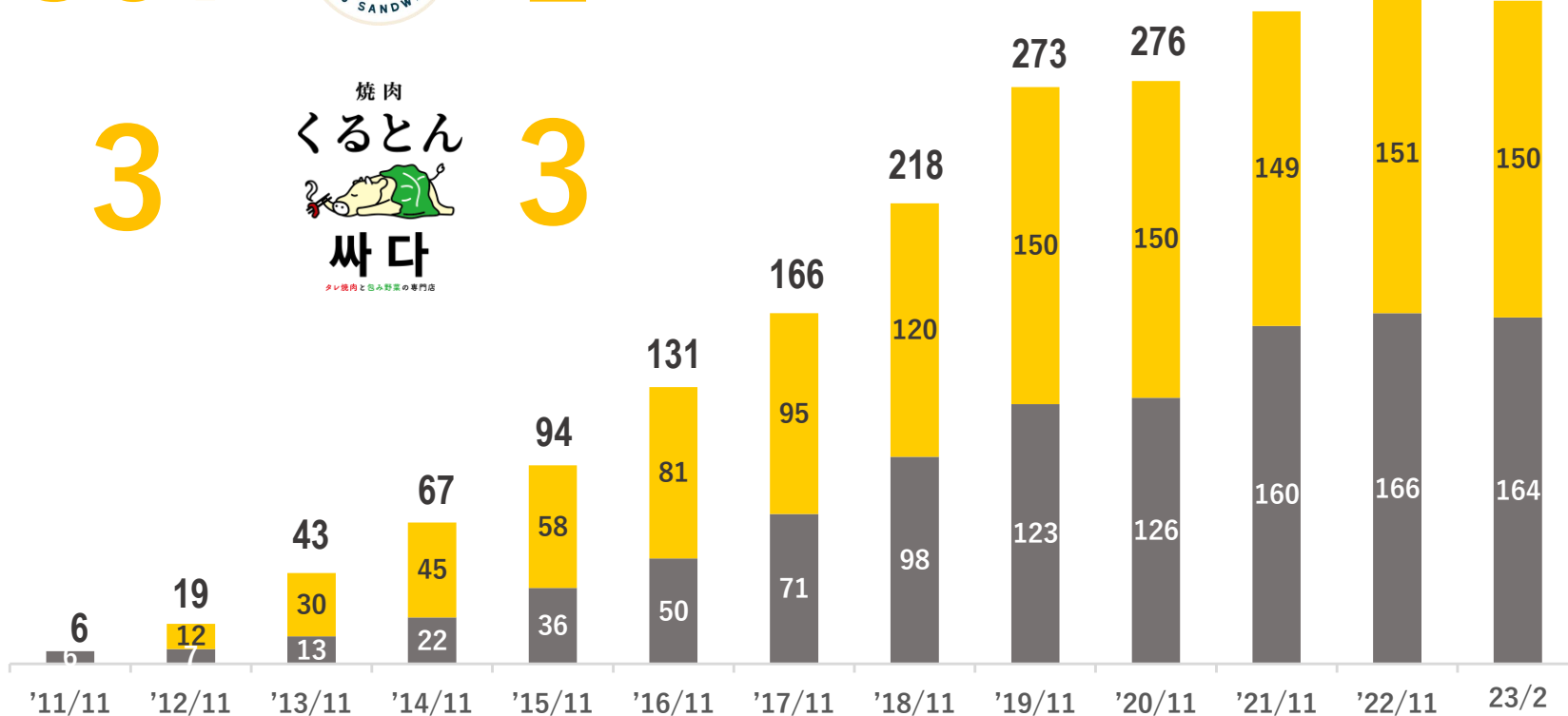
3



3

タレ焼肉と旨み野菜の専門店

314



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

●直営店 ●FC店

出退店及び業態変更の状況

■ 新規出店等の状況 5店舗出店 退店8店舗

ブランド	期首	新店		退店		業態変更	合計
		直営	FC	直営	FC		
	310	—	5	3	5	—	307店舗
 鳥と卵の専門店	3	—	—	—	—	—	3店舗
 焼肉 くるとん 싸다	3	—	—	—	—	—	3店舗
	1	—	—	—	—	—	1店舗
合計	317	—	5	3	5	—	314店舗

2023年2月末時点





串カツ田中の出店数の前期比較/予算比較

(単位：店舗)

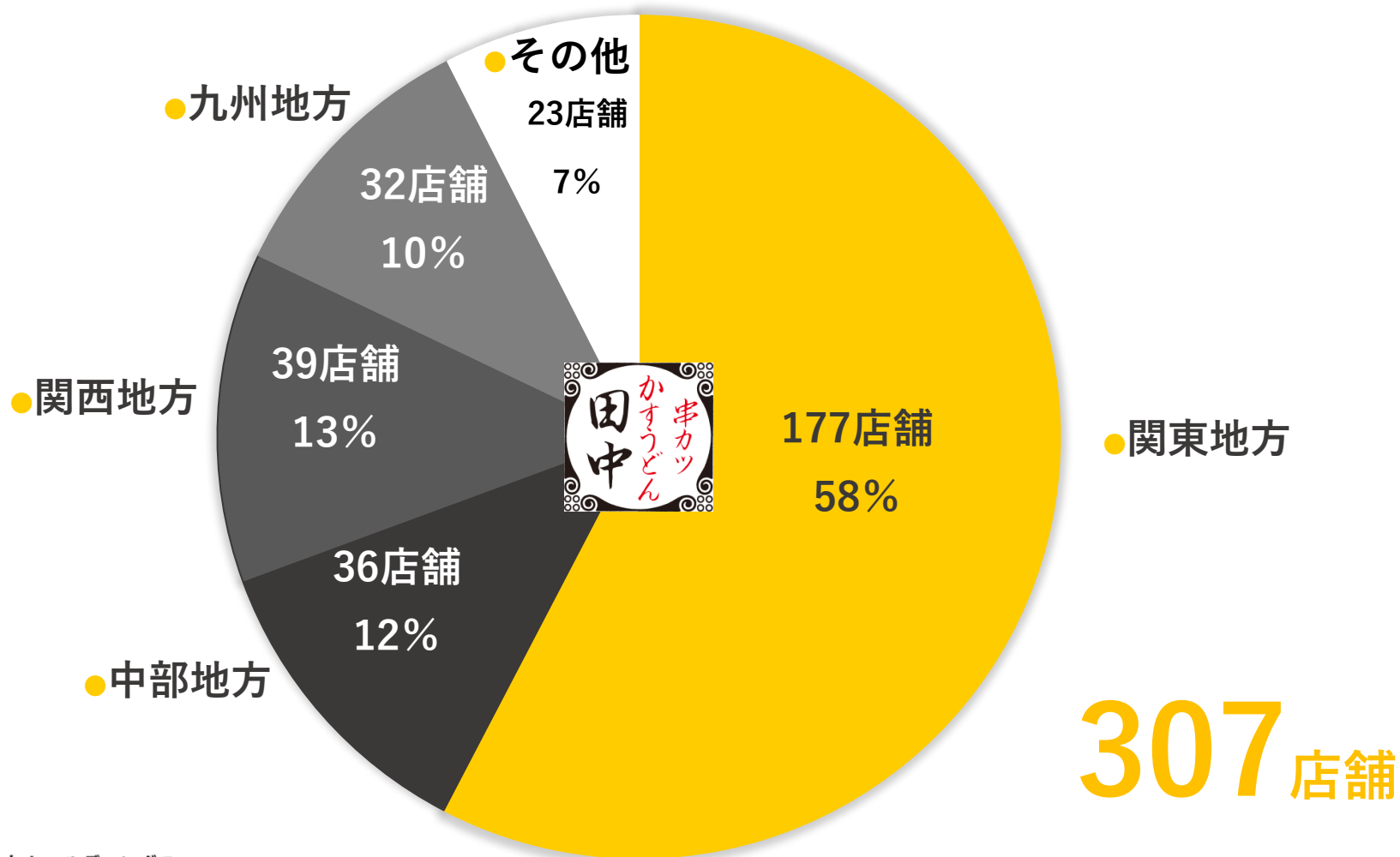
分類	2022年 11月期 第1四半期	2023年 11月期 第1四半期	前年同期 比較	年間予算	達成率
直営店	1	—	△1	20	—%
FC店	3	5	+2	30	16.6%
合計	4	5	+1	50	10.0%

※業態変更は含めておりません。



串カツ田中 店舗分布

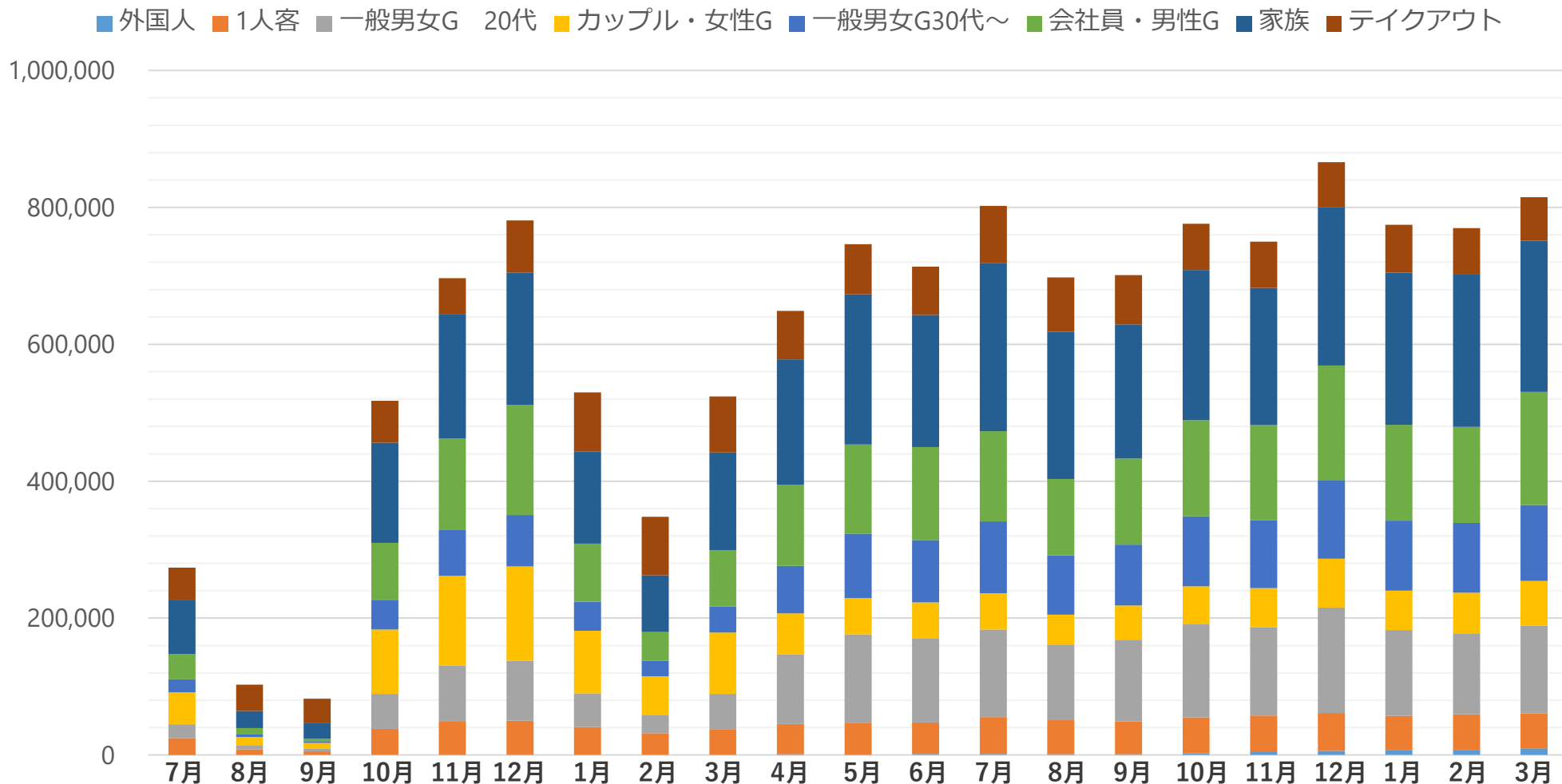
■ 42都道府県に出店。串カツ全国制覇まで残り5県



客層別売上高の推移

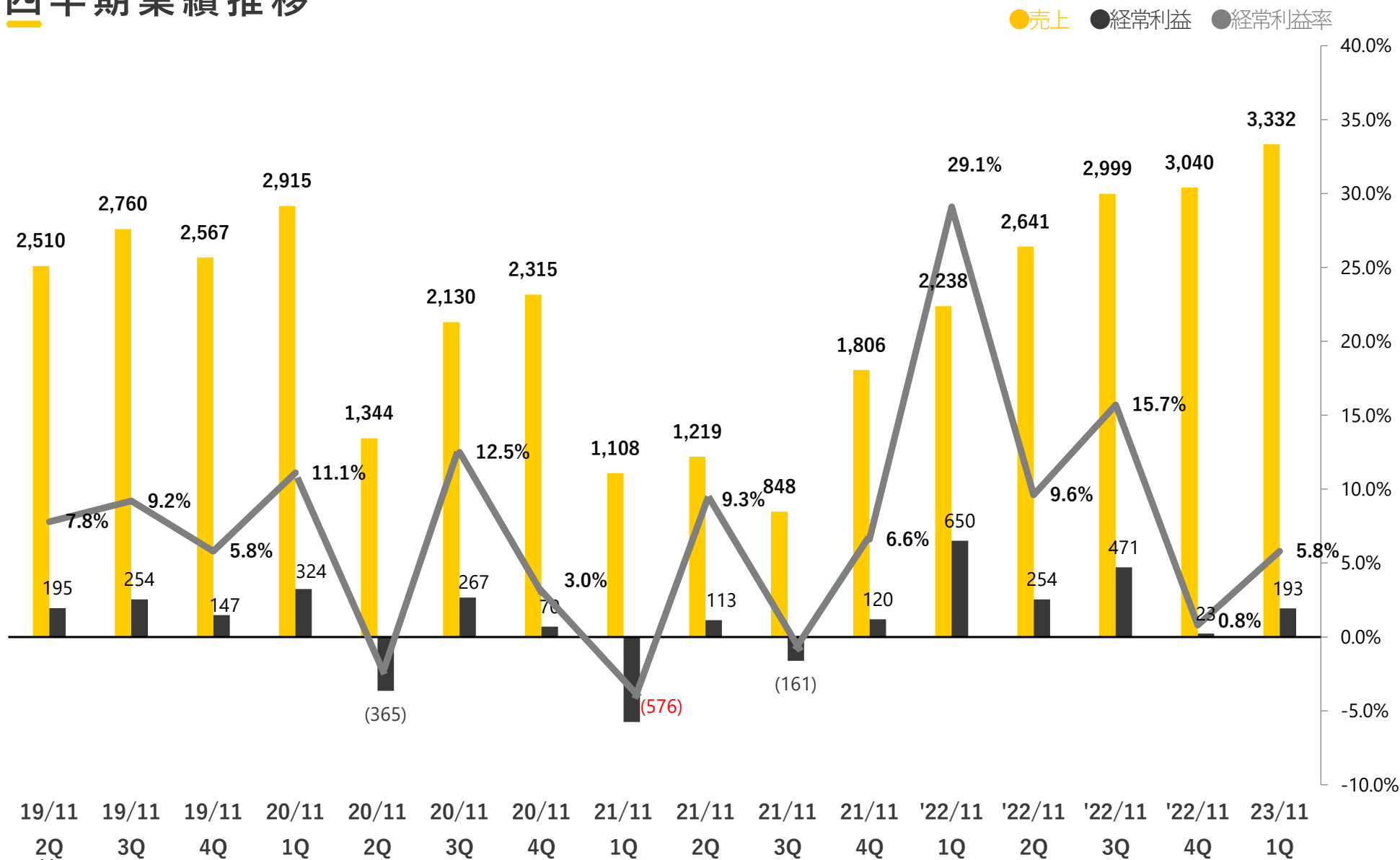


串カツ田中直営店データ



(単位：千円)

四半期業績推移



連結貸借対照表

項目	2022年 11月期	2023年 11月期1Q	前期末 比較	主な増減内容
流動資産	4,173	3,319	△853	税金の支払いによる預金の減少
固定資産	3,429	3,273	△156	減価償却費の計上に伴う減少
資産合計	7,603	6,592	△1,010	
流動負債	3,913	3,073	△839	税金の支払いによる減少
固定負債	1,750	1,565	△184	長期借入金の減少
負債合計	5,663	4,639	△1,024	
純資産合計	1,939	1,953	+14	当期純利益を計上したことによる影響
負債・純資産合計	7,603	6,592	△1,010	
自己資本比率	25.5%	29.5%	+4.0pt	税金の支払いによる総資産減少による影響
有利子負債依存度	39.5%	39.6%	+0.1pt	



株主還元

利益配分の基本方針

将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを図りながら
安定的かつ継続的な配当を実施

配当予定

前期：1株当たり10円00銭 当期：未定

株主優待(基準日：11月末)

株主の皆様の日頃からのご支援にお応えするとともに、当社店舗のご利用を通じて
より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことを目的とする

ご所有株式数	株主優待（電子チケットにて贈呈）
100株～299株	2,000円相当（1,000円券2枚）のお食事ご優待券
300株～599株	4,000円相当（1,000円券4枚）のお食事ご優待券
600株～899株	6,000円相当（1,000円券6枚）のお食事ご優待券
900株以上	8,000円相当（1,000円券8枚）のお食事ご優待券



3. 参考資料

KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

Corporate philosophy

どんな時代においても必要とされる“会社・組織・人材”になる



KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

■ 2023年重点取り組み

おもてなし



Good time and New value

串カツ田中で大切にしている「**笑顔**」
笑顔を大切にする**おもてなし**をグループ事業全体へ

串カツ田中は人と人とのつながり、
何気ない、かけがえのない時間を提供してきました
笑顔は何気ないひとときを
“**忘れられないひととき**”にする

我々はおもてなしをテーマに“**新しい体験価値**”の創造に挑戦します



多角化経営に向けた取り組み

2023

中核事業である串カツ田中を中心としながら、スケールメリットや相乗効果が期待できる新規ブランド、海外展開、新規事業の取り組みをスタート致しました。

中核事業



新ブランド

海外事業



新規事業



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

売上利益の拡大

1 串カツ田中の可能性

1. 既存店売上高向上
2. DX×人事戦略による収益改善
3. FCビジネスの強化
4. インバウンド領域

2 利益根源の開拓

1. 物流改善
2. EC等の内食マーケット
3. Vマネージ外販による収益
4. GTデザインの新たな収益

3 新田中と2本目の柱

1. 串カツ田中リモデル
2. 鳥玉
3. 焼肉くるとん
4. TANAKA International

4 新規事業/M&A

1. 既存事業とシナジーがあるM&A
2. 新規事業の開拓
3. 既存事業からの新モデル

事業領域の拡大





Vision

全国 **1,000 店舗** 体制構築を目指し、
『串カツ田中』の串カツを、日本を代表する食文化に

Corporate philosophy

串カツ田中の串カツで
一人でも多くの笑顔を生むことにより、社会貢献し
全従業員の物心両面の幸福を追求する。





More fun More fan

もっと楽しくもっとファンに

スタッフ

笑顔への先行投資
エンゲージメント向上
精神的・金銭的報酬向上

笑顔

おもてなし

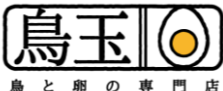
ロイヤリティプログラム
地域密着コミュニティ
CRM基盤の構築運用

お客様

スタッフの笑顔がお客様を笑顔にする
関わる全ての人が”もっと楽しく、もっとファン”になりたくなる店作り



■ 出店戦略を強化し積極的な店舗展開を予定

ブランド	期首	新店		退店 予定	合計
		直営	FC		
	310	20	30	11	349店舗
 鳥と卵の専門店	3	—	—	—	3店舗
 焼肉 くるとん 싸다	3	5	10	—	18店舗
	1	1	—	—	2店舗
合計	317	26	40	11	372店舗



新たな成長軌道へ -過去最高売上を目指す-

●売上高 14,400百万円

伸長率目標
132%

●営業利益
780百万円
営業利益率：5.4%

●経常利益
850百万円
経常利益率：5.9%

●当期純利益
420百万円
当期純利益率：2.9%



項目	2022年 実績	2023年 予算	前期比較	トピックス
売上高	10,919	14,400	+31.9%	店舗数増・既存店回復
売上総利益	6,999	9,300	+32.9%	物価上昇・物流改革
販売費/一般管理費	7,168	8,520	+18.9%	光熱費・資材包材高騰 クレジット導入
営業利益	△169	780	-%	
営業利益率	—%	5.4%	-	
経常利益	1,399	850	△39.2%	助成金がなくなる影響
経常利益率	12.8%	5.9%	-	
当期純利益	743	420	△43.5%	
当期純利益率	6.8%	2.9%	-	

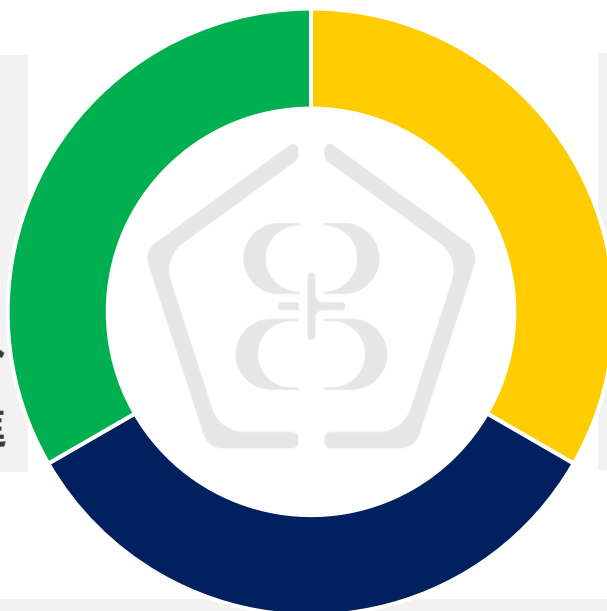


サステナビリティ

- 当社は「おもてなし」「働きがい改革」「DX」の推進により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

ENVIRONMENT 環境

CO₂排出量・食品ロス削減
アニマルウェルフェアの取組み
サーキュラーエコノミーの推進



GOVERNANCE 企業統治

リスクマネジメントの強化
情報セキュリティ強化
コンプライアンスの徹底

SOCIAL：社会

従業員健康増進・働きがい改革
顧客満足推進
地域社会への貢献
ココロのバリアフリー活動



3.参考資料

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社串カツ田中ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解していただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2023年2月末日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びにリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行なう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により、情報に誤りが生じる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社串カツ田中ホールディングス 経営企画室IR担当

TEL：03-5449-6410

URL：<http://kushi-tanaka.co.jp>



串カツ田中ホールディングス
KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS

©2023 KUSHIKATSU TANAKA HOLDINGS CO.

会社概要

社名	株式会社 串カツ田中ホールディングス
設立	2002（平成14）年 3月 20日
代表者	代表取締役社長 CEO 坂本 壽男
本社	東京都品川区東五反田一丁目7番6号
資本金	306百万円（2023年2月末現在）
業績	<ul style="list-style-type: none">・売上高：109億19百万円・経常利益：13億99百万円（ともに、2022年11月期）
事業内容	「串カツ田中」「鳥玉」「焼肉くるとん」ブランドで関東圏を中心に全国規模で飲食事業を展開



3.参考資料

沿革

	設立・会社TOPIX	店舗・出店TOPIX
1998年11月	個人事業として創業	「KG Bar」 オープン
2001年12月		デザイナーズレストラン「ターンザテーブル」 オープン
2002年3月	大阪市西区に当社設立	
2004年3月		東京都港区に「京料理みな瀬」を開店
2008年12月	レシピが見つかる	串カツ田中1号店「串カツ田中世田谷店」(東京都世田谷区) オープン
2011年12月		串カツ田中の方南町店をフランチャイズ化し、フランチャイズ展開を開始
2012年5月		初の大型ターミナル駅出店「串カツ田中渋谷桜ヶ丘店」 オープン
2013年11月	東京都渋谷区に本店移転	
2014年2月	「外食アワード2013」受賞	
2014年4月		50店舗出店達成 (FC店含む)
2014年7月		串カツ田中関西圏1号店「串カツ田中岸和田店」 オープン
2014年9月		串カツ田中東海地区1号店「串カツ田中金山店」 オープン
2015年5月	東京都品川区に本店移転	
2015年8月	商号を「株式会社串カツ田中」に変更	
2015年12月		100店舗出店達成 (FC店含む)
2016年4月		初の商業施設「串カツ田中KITTE博多店」 オープン
2016年9月	東京証券取引所マザーズ市場上場	
2017年5月		150店舗出店達成 (FC店含む)
2018年6月	ホールディングス化、ほぼ全店禁煙化	
2018年7月		200店舗出店達成 (FC店含む)
2019年3月		初のF R型ロードサイド業態出店「串カツ田中前橋三俣店」 オープン

3.参考資料

沿革

	設立・会社TOPIX	店舗・出店TOPIX
2019年6月	東京証券取引所市場第一部へ 指定替え	
2019年8月		250店舗出店達成（FC店含む）
2020年2月		「鳥玉」ブランドの譲受
2020年3月	100%子会社 (株)セカンドアロー設立	
2020年9月		鳥玉1号店「鳥玉モザイクモール港北店」オープン
2021年4月	冷凍串カツのオンラインショップ開設	
2021年10月	(株)インフォーマートと業務提携及び 合併会社「(株)Restartz」の設立	
2022年1月		300店舗出店達成（FC店含む）
2022年3月		焼肉くるとん1号店「北浦和店」オープン
2022年6月		TANAKA1号店をアメリカオレゴン州ポートランドにオープン
2022年9月		焼肉くるとん フランチャイズ展開を開始
2022年10月	(株)ジーティーデザイン設立	





**KUSHIKATSU TANAKA
HOLDINGS**